

高梁川流域キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域の

てんねんきねんぶつ

天然記念物

くしばたんぽぽ

クシバタンポポ

かんけいしまち
関係する市町

にいみし
新見市

かんけい じょうほう 関係のある情報

【場所】新見市哲西町大野部

【時代】不明

【指定年月日】昭和54年5月16日

【所有】なし

【見学】可



てんねんきねんぶつ この天然記念物について

この植物は、タンポポの一種で葉は^{くしばじょう}櫛歯状（くしの様に切れ込みが続いている形）に分裂することが多く、^{ぶんれつ}裂片は幅が狭く^{れっぺん}線状となっています。茎は低く、高さが葉の長さを超えることはありません。花は濃い黄色で、在来種のカンサイタンポポと同じような色をしています。

昭和7（1932）年4月、^{たしろぜんたろう}田代善太郎氏が^{てっせいちょうおおのべ}哲西町大野部で発見し、^{きたむらしろう}北村四郎博士によってクシバタンポポの和名が与えられた珍しい植物です。分布がごく狭く、かつ貴重ですが、^{ほそう}道路拡張や舗装等のため減少傾向にあります。